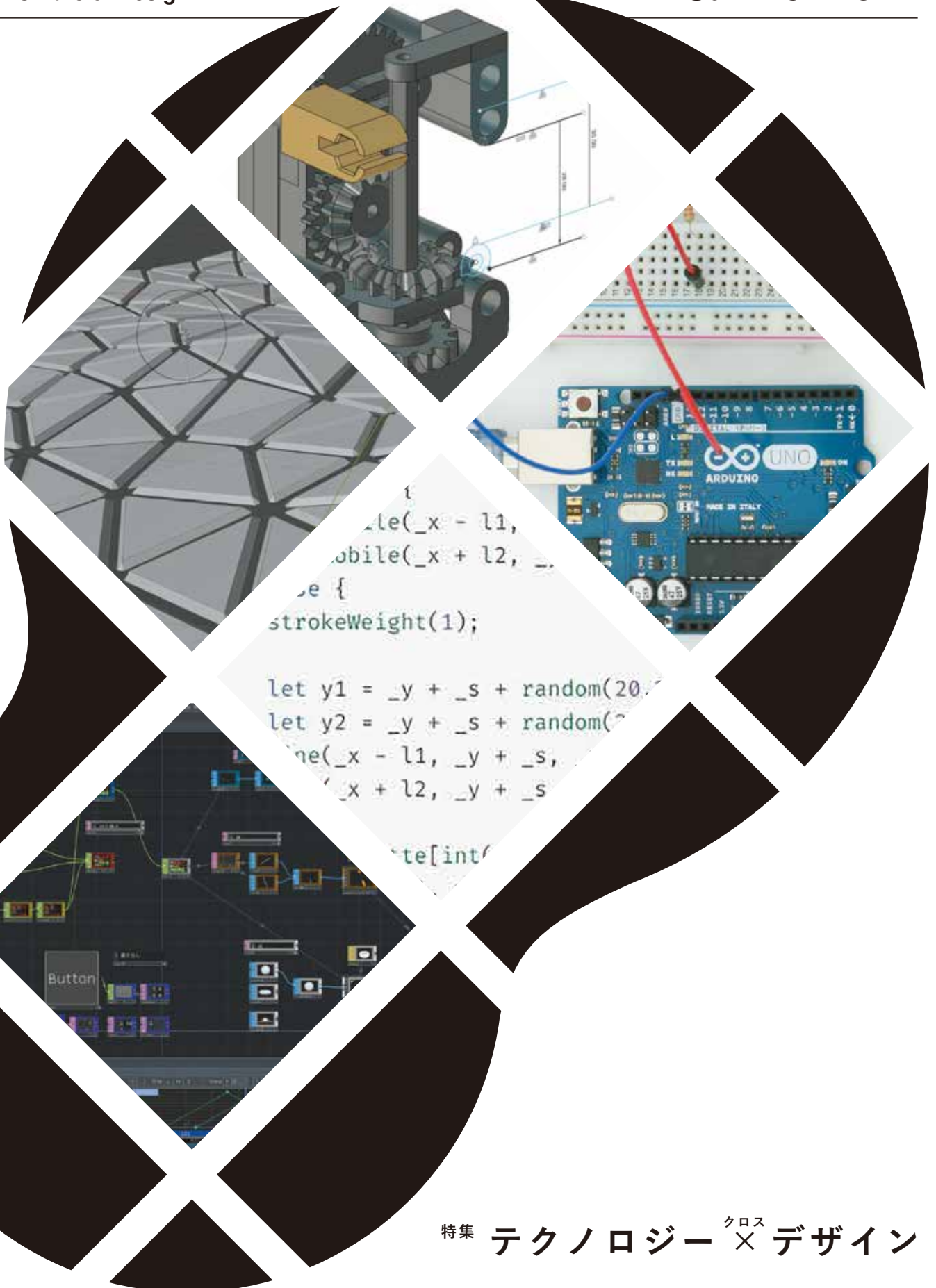


NID News

Latest News
Nagaoka Institute of Design

Summer 2022



特集 テクノロジー ^{クロス} × デザイン

新領域テクノロジー ^{クロス} デザイン

2023年4月 START!

2023年に誕生する「デザイン学科」の3領域の一翼を担う

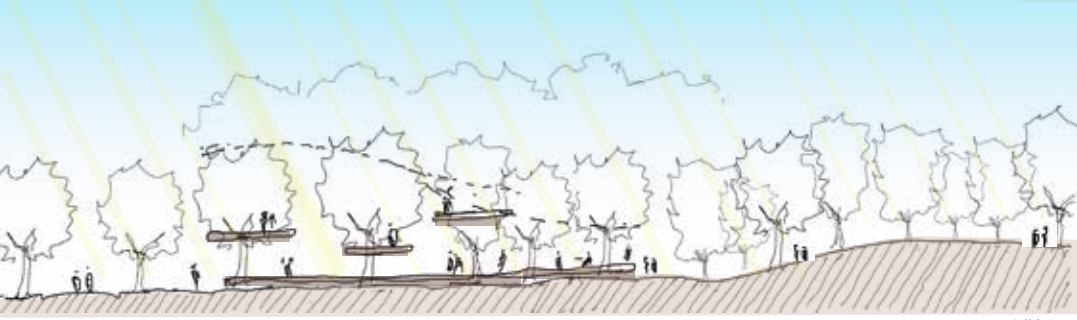
「テクノロジー ^{クロス} デザイン (T×D)」ケミストリー。現代社会の中で必須の要素とも言えるデザインとテクノロジーが、NIDでどのような化学反応を起こすのでしょうか。

T×D領域では、デザインとテクノロジーを車の両輪のように学び、お互いを高めていきます。しかし、「テクノロジーって工学部で学ぶのでは?」「数学や物理が得意ではない・・・」などの不安があるかもしれません。

NIDのT×D領域では、デザインやアイデアを実現する仕組みを理解し、「カタチに実装できるスキル」を身につけていきます。

問題発見・解決、美しさ、機能性、コミュニケーションなどのデザインに必要な要素は、しっかりと学び自らの土台とすることが前提となります。

そのうえで、デジタル技術をはじめとするテクノロジーのことを、手や頭を使いながら理解し、それを道具として捉えてデザインに掛け合わせることで、「造形」「動き」「体験」などの新しい可能性を探究し、提案できる力を身に付けていきます。

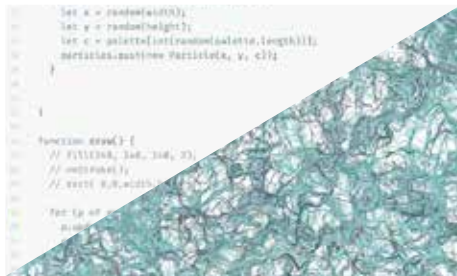


新校舎イメージ

2024年 秋

キャンパスに広がる豊かな杜に溶け込む新たな校舎が誕生予定。先進的なデジタル機器を備えたプロトタイピングルームや

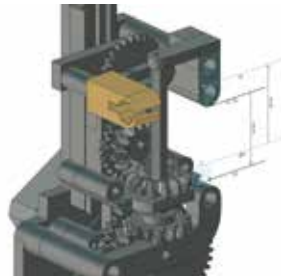
T×Dが学べる特徴的な科目



プログラミングⅠ・Ⅱ

1年 / 選択

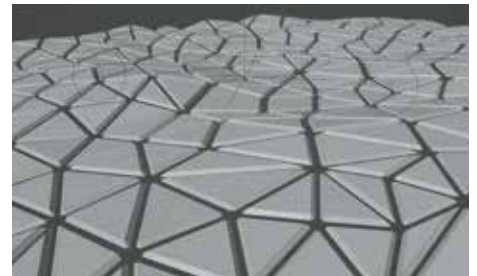
様々なテクノロジーを使いこなす入口となるプログラミングを、視覚表現の一手法として考え、Processingを中心に、数値・情報の取扱いを課題を通して理解し、ビジュアル表現を行う。



3D CAD 演習

1年 / 選択

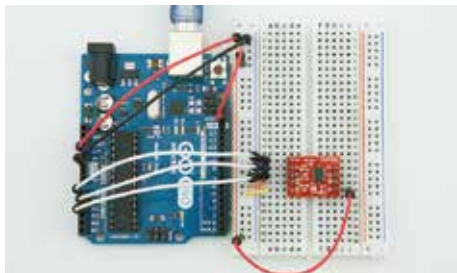
Fusion360 を用いて 3D CAD の基本的な使い方を身につけ、コンピュータの画面上で形状や質感を確認しながら、3D プリンタで出力するためのモデル等を制作する。



3DCG 演習

2年 / 選択

人体などの有機的なものの表現やそれらを使ったアニメーション制作するためのCGソフトウェアの操作を身に付け、アニメーション、VRやARへの応用となる基礎のモデリング技術を学ぶ。



フィジカルコンピューティング

2年 / 選択

情報家電に付属するセンサー、マイコン、出力部について、実装に必要なマイコンや電子回路の知識を踏まえ、実際に組み立てながら操作、技術、制御について学ぶ。



スクリーンメディアデザイン

2年 / 選択

Web ページ、アプリ、パソコン、スマートフォン、デジタルサイネージなどのスクリーンメディアについて、画面変化やインタラクションを考慮した UI デザインの知識とそれを企画・制作する技術を身に付ける。



スタジオ演習Ⅰ～Ⅲ

2,3年 / 必修

専門分野ごとのスタジオから、複合・応用的なスタジオに展開していく。スタジオではアイデアをカタチにし、それを動きや体験に実装する課題に取り組む。



先生に聞く T×D



真壁 友

Makabe, Tomo

専門分野：
デジタルファブリケーション
メディアアート

デザインは問題解決の道具です。アイデアを出し問題解決の方法を提案します。しかし紙に描いた図だけで伝わらないこともあります。そこで、テクノロジーの力を使い実際に使えるプロトタイプを作ります。自分でも使い、人に使ってもらい次のアイデアへとつなげられます。実際に動くモノを作れるのがこの領域の特徴の一つになります。デザインとテクノロジーを掛け合わせ超えられない壁を越える、それがこの領域の面白さでしょう。



金山 正貴

Kanayama, Masaki

専門分野：
プロダクトデザイン
インタラクションデザイン
ユニバーサルデザイン

私は情報機器メーカーで携帯電話やパソコン、ロボットなどのデザインに関わり、現在はこれらを中心に教育・研究をおこなっています。この分野はカタチのデザインだけでなく、人と人を繋ぐ役割を持ち、生活に不可欠な様々なサービスに関係しています。そのため、その利便性や楽しさをわかりやすく伝えるデザインが求められてきます。そのようなテクノロジーを使った製品やサービスの歴史は数十年程度で、これからますます発展し、未知の世界を切り拓くことのできる点に面白さがあると思います。



増田 譲

Masuda, Yuzuru

専門分野：
プロダクトデザイン

私は現在、Generative Design によるプロダクトデザインの研究をしています。具体的にはコンピュータプログラムによって生成された有機的フォルムを3Dプリンターで出力して家電製品を作っています。Generative Designはコンピュータによって人間の想像力を超えた造形を生み出す手法です。このようにコンピュータによってでしか到達できない美しさに出会える事が私にとってのこの領域の魅力です。



平原 真

Hirahara, Makoto

専門分野：
メディアアート
インタラクションデザイン

新しいテクノロジーを表現に応用する試みは、昔から行われてきました。1960年代にゼロックス（コピー機）が登場した時、デザイナーのブルノ・ムナリは、コピー中に原稿を動かし歪ませることで、「正しく複製をする」というコピー機本来の使い方を覆し、新しいイメージを創造しました。現在はAIやXR、NFTなど新しい技術が次々に登場しています。挑戦的なデザイナーの視点で、創造的な可能性に取り組むことが、この分野の面白さだと思います。

デジタルデザインアトリエ、
映像やオーディオの編集室など、
T×D領域の授業や研究活動はもちろん、
全学生が使用できるものづくり拠点へ

T×Dの 作品や研究成果

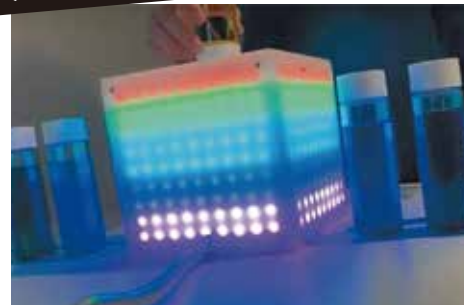
かたちに動きを与えたり、
サービスや体験型のコンテンツを
デザインしたりと実装を伴う作品や
研究成果のフィールドが広がっています。

Web・アプリ



長岡駅前での夜行バス利用者の特性を活かす
短時間バイトマッチングサービス
(2022 / 竹内 葉留子)

メディアアート



音楽への興味の入り口となる体験
(2022 / 平山 圭吾)

ゲームデザイン



遊びと学びについての研究
(2022 / 前田 信輝)

デジタルファブリケーション



アイス型ペロペロパー

ケーキのフィルムを人の目を気にせずペロペロすることができる道具。

ウイナーインベダー

UFO型のタコさんウィンナー製造機。刃物を使わないからお手軽に大量生産できるぞ!!!

普段の生活に遊び心を加える道具の提案
(2022 / 牧内 奈美)

デジタルファブリケーション



人の気配や存在を生活に加える
(2021 / 川合 絢子)

TOPICS



全国初!? ランチサブスク スタート!

一人暮らしが多い学生たちの食生活を応援する、サブスクリプション（定額）サービスが今春スタートしました。料金は1食あたり約240円※! 学生はNID レストランで毎日好きなランチメニューが食べられます。

※半期料金20,000円(税込) メニュー例: 日替定食410円、カレーライス340円



画材を譲り合う OSAGARIプロジェクト

学生アイデアによる、画材などを譲り合うOSAGARIプロジェクトが進行中です。昨年はイベント形式で開催し、画材や文具、テキスタイル、そしてゲーム機など、学生・教職員から多くの出品がありました。



東京シャトルバス 3年ぶりに復活!

キャンパスと東京を繋ぐ「東京シャトルバス」がバージョンアップして復活しました。乗車料金は更に利用しやすく、往復2,000円に改定! 美術館見学やイベント参加など、学生たちは様々な目的で利用しています。



第27回文房具アイデアコンテスト 「サンスター文具賞」受賞

July 2022



サンスター文具「第27回文房具アイデアコンテスト(テーマ「くすっ」)」において、約5,600作品の応募の中から本学学生が受賞しました。

サンスター文具賞

「命が宿った消しゴム けしころ」

藤原 佳菜 (プロダクトデザイン学科4年)



第76回新潟県美術展覧会 「新潟日報美術振興賞」受賞

June 2022



新潟県美術展覧会(県展)工芸部門において、鍛金を専攻する本学の学生が受賞しました。

【工芸部門】新潟日報美術振興賞

「あまごい」谷原 有咲(美術・工芸学科4年)



第16回JIA北関東甲信越 学生課題設計 コンクール2022「銅賞」受賞

May 2022



公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 北関東甲信越地域会 学生課題設計コンクールにおいて、本学学生が受賞しました。

銅賞

「ともしび」大河内 詩歩(建築・環境デザイン学科2年)

EVENTS



大学祭りベンジャーズ、 準備中!

今秋悲願の大学祭の開催を目指し、実行委員会の学生を中心に準備中です。ハンドメイド作品などを販売するマーケットやキャンパス内で打ち上げる「造形大花火」など、NIDカラーのプログラムで皆さんをお待ちしています!

申し込みは特設ホームページから。

<https://nid-cosmo.studio.site/>



電子工作・プログラミング講座 9月に開催

デザインの専門性を伝える市民向けの電子工作・プログラミング講座を9月17日(土)、18日(日)の2日間開催します。電子工作・プログラミングが初めての方でも大丈夫! コンピュータとセンサーを使って、日常の問題を解決するアイデアを実現します。

「M5Stack(エムファイブスタック)」というツールを使って簡単に組み立てることができます。テクノロジー × デザインに興味がある高校生以上の方をお待ちしています。



公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design

編集・発行
入試広報課 / 〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地
Tel.0258-21-3331 Fax.0258-21-3956
E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp



Twitter
@N_I_ID